

特集 「議会改革特別委員会」

新たに6項目を中間報告

平成24年3月定例会で行った中間報告の新たな取り組み6項目の概要をお知らせします。

一問一答方式

質問事項に対する答弁がわかりづらいという問題を解決するために、項目ごとの一問一答方式を選択制で採用します。質問と答弁がセットになるので議論が明確になります。

【実施目標：H24. 9】

反問権

従来の議員から市長への質問だけではなく、市長から議員への質問や反問を認めるものです。議員対市長の討論が行われることで議論が深まり、問題の焦点が明確になります。

【実施目標：H24. 9】

議会の土日開催

平日昼間開催している定例会を、勤労者層の議会参加を促すため、試験的に土、日曜日に開催するものです。アンケート調査も行い費用対効果の検証も行います。

【実施目標：H24. 12】

会期日程

予算審査・決算審査は重要な案件であり、細やかな事業検証・市民への説明責任を考慮し、2日間の日程を1日追加し、さらに一般会計と企業会計の審査の間に議案熟考日を設けます。

【実施目標：H24. 9】

議事日程

会議を能率的に運営することを目的に作成している議事日程に、従来掲載されていなかった議員表彰、亡くなった議員への弔慰なども掲載します。

【実施目標：H24. 12】

議会報告会

議会の機能や権限、議会と市長の関係等についてより理解を深めていただくために、対話形式での意見交換会を積極的に開催します。

【実施目標：H24. 12】



フォーラムでの意見交換風景

去る二月十八日、初めての試みとなる議会改革フォーラムを開催しました。講師の廣瀬和彦氏からは、議会改革が求められている現状・進むべき姿についてアドバイスを受けました。また参加した市民の皆様からは議会に対する貴重な意見を伺うことができました。この経験を議会改革の取り組みへと役立ててまいります。

議会改革
フォーラム